



坂戸市立桜中学校・学校だより

美しき桜花

令和7年度

12月

「校訓」自主・溌剌

「学校教育目標」自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成

「東京デフリンピックから考えること」

先日、東京を舞台に開催された「東京デフリンピック」が、多くの感動とともに幕を閉じました。聴覚に障がいのあるアスリートの皆さんと、種目ごとに力の限りを尽くし、互いを称え合う姿は、スポーツの持つ可能性と、人が本来もつ強さと優しさを私たちに示してくれました。競技そのものの素晴らしさはもちろんのこと、一つ一つの場面に「誰もが参加し、誰もが認められ、誰もが輝くことができる社会とは何か」を問いかける力があったように思います。

今回の大会を通して改めて感じたことは、「誰もが生きやすい世の中は、自然に訪れるものではなく、私たち一人一人が考え、行動し、つくり上げていくものだ」ということです。大会運営に携わった多くのボランティア、選手を支えたスタッフ、応援に駆けつけた人々。そこには、立場や世代を越えて手を取り合い、共に支え合う姿がありました。その積み重ねこそが、互いの違いを尊重し合える社会を形づくっていきます。

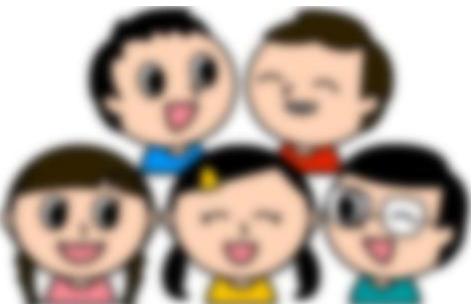


本校の生徒を日々見ていると、友達のためにそっと声をかけたり、困っている人に自然に手を貸したりする、温かい姿が多く見られます。一方で、ちょっとした言動が誰かの心に影を落とすこともあります。「いじめは絶対に許さない」という言葉は、学校の方針として掲げるだけでなく、子どもたち一人一人の日常のふるまいの中で具体的に形にしていかなければなりません。

では、「誰もが生きやすい社会」を生徒達が実感として理解し、実践するためには、どこから始めればよいのでしょうか。それは、遠くの大きな目標に向かう前に、まずは自分の身近なところから、できることを積み重ねていくことだと思います。教室での一言、休み時間のふるまい、行事での協力の姿勢・・・その一つ一つが、互いを大切にする学校文化を確かなものにしていきます。

東京デフリンピックが私たちに示してくれたのは、障がいの有無にかかわらず、誰もが尊重され、力を発揮できる環境づくりの重要性です。本校としても、生徒達が互いの違いを認め、支え合い、安心して過ごせる学校であり続けるため、教職員一丸となって取り組んでいます。また、保護者や地域の皆さんとも力を合わせ、生徒達が未来に向かって自信をもって歩んでいける環境を整えていきたいと考えています。

東京デフリンピックの余韻が残る今、改めて「誰もが生きやすい社会とは何か」を共に考え、行動につなげていくきっかけとしていきたいと思います。今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いします。



【教育相談週間】

【藥物亂用防止教室】

各終よく強かして。がうして。したさいにとし怖と人教了くいか
ズ迎乱本て級お物。め学め参「用がし
オて薬た集はたの、乱室ま
イしにしを日たでは物教し
ラと象ま徒當つ式に薬本感
玉師対し生、あ形りに、実
埼講を施校がでん返対れを
を徒実全た況イリ絶らと
日様生をにし状ラ振「見こと
11月12皆校室館でるンの」くた
の全教育定あオ徒た多
11月12ラし防はう鎖かのかいと
クえ用來行閉室後分思り



【吹奏楽部・アンサンブルコンテスト地区大会】

【さくら学級小中交流会】

「中
え、
いさ
い。來
と學
見つ
據て
まつ
交流
と温
かい
なり
こ中
会し
きも
は始
だ重
る小
会の
とる
たてが
ん貴
な特
柳い
こめれ
つ活
なるに
校片
招。目
深さと
生氣え
みに校
園らし
り仲企
生学霧
も樂し
まく、う
年中な
てが樂
りよ6
らんじ学
行係知
るにかこ
感入た。
年学校
な」度し
ます。



【修学旅行説明会（2年）】

現考る行
す。とか励つ
ます。いかのろ
りは症洗が
な性染手員
と能感と全
行可の理年
旅の等管学す
の止ザ調、ま
学護ま1たで中ン体めり
修保きりる期るエ。努お
たのだよな時よルすにて
しくた度といにフま防つ
催多い年施し症ソリ予願
開、参加昨実厳染イなのを
には参はのの感、くらと
日にご度月さ、がしかこ
会に年1寒ろす難頃る
様今いりこまが日き
11月説皆。遅よとれ加、で
旅行のた月、のら參ど加
旅者しかめ、在えとな參



12月の予定

※変更することもあります。

1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

1月の主な予定

※変更することもあります。

